

今後の人文学・社会科学の振興に向けた推進方策について（中間まとめ）（概要）

1 人文学・社会科学の現代的役割について

令和6年8月22日 科学技術・学術審議会学術分科会人文学・社会科学特別委員会

人間の根源の理解に資し、合意形成を探求する学問分野であり、知的文化的成熟度を測る重要な尺度ともなりうる。

→ 世界規模の課題の解決・グローバルな知への貢献、多様な文化や価値観の相互理解において人文学・社会科学が果たす役割は大きい。

2 人文学・社会科学の振興に向けた取組の実施状況、現在の課題について

3 人文学・社会科学の振興・課題解決に向けた更なる推進方策について

《人文学・社会科学を軸とした課題設定型・異分野融合研究》

必要性 世界規模の課題の解決には、人文学・社会科学内での方法論の展開、人文学・社会科学の分野内での新たな融合と自然科学の協働が必要である。また、異分野融合研究は、人文学・社会科学の研究を発展させる側面もある。

課題

- 他分野との間で使用する言語・概念に差異があり、互いの理解が進んでいない。
- 他分野の研究者と出会う機会が少ない、また、研究者をつなぐ人材や結成されたチームの研究活動をサポートする人材が少ない。
- 異分野融合研究の成果を評価する仕組みが確立されていない。

推進方策

- 長期的な視座が必要なものとして設定された課題に応じて行う研究の意義は極めて大きく、研究者自らの課題意識に基づく社会課題にも対応できるよう推進することも重要。大学院生等の本来の研究分野の足場固めに留意しつつ、参加促進が重要。
- 多様な分野の研究者が交流できる場や研究開発マネジメント人材による研究者のマッチング・共創の場づくり、活動サポートも必要。
- 研究開発マネジメント人材の育成や後押ししていく上での、先進事例を共有できる仕組みの構築、正当に評価される仕組みが重要。
- 論文だけでなく、社会的インパクトを重視した評価等、プロジェクトの趣旨に沿った研究成果の可視化

《データ基盤の整備・運用》

必要性 研究のDX化・オープンサイエンスの流れが加速する中、人文学・社会科学においても、世界的にデータを利活用した研究が進んでおり、我が国においても積極的に取り組むことが必要

課題

- 多くの競争的研究費制度におけるデータマネジメントプランの作成・提出等への対応が求められている。
- メタデータ・データ規格が国際標準に対応せず、分野ごと・作成者ごとに異なることもあり、データを利用した研究が非効率になっている。
- データに通じた人材の不足、またその育成の機会も不足している。

推進方策

- 國際標準規格への対応や、相互運用性の確保に向けたデータ規格のモデルガイドラインの策定・普及が必要。
- データの構築・利活用に通じた研究者の育成、人材育成プログラムの普及が必要。
- JSPSの「人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業」における連携データの拡充、JDCatの利便性向上の推進が必要。
- データキュレーター等の育成・確保を含むオープンサイエンスへの対応が必要。

今後の人文学・社会科学の振興に向けた推進方策について（中間まとめ）（概要）

《研究成果の可視化とモニタリング》

必要性 人文学・社会科学の総合的・計画的な振興と国民の理解増進に資するため、研究動向や成果の可視化が必要

課題

- 「国際ジャーナル論文」、「国内ジャーナル論文」について、正確な研究成果の把握が困難
- 「書籍」について、体系的な指標が存在せず、また、対象となる書籍の範囲・総量が不明確
- 研究成果のモニタリングは、分野・時代に応じたものであることが必要

推進方策

- まずは国際ジャーナル論文・国内ジャーナル論文・書籍に係る研究成果の可視化の調査分析を着実に推進
- 研究プロジェクトによっては、論文等の研究成果だけでなく、多様な社会的インパクト等を重視した成果の把握も重要であり、これらを測るための新たな指標等を検討し、成果の把握・可視化を進める。

《研究成果の国内外への発信》

必要性 研究の意義の国民・社会からの理解、成果の社会への還元、国際プレゼンスの向上のために不可欠

課題

- 人文学・社会科学の研究者と自然科学の研究者との間で研究成果の社会一般への発信についての意識に違いがあり、同分野の多くの興味深い研究成果が社会に知られていないことが多い。
- 外国語での発信が不十分である。但し、日本語での発信が重要な分野もあることにも留意が必要である。

推進方策

- 人文学・社会科学の研究者の成果発信への意欲を高める方策を検討するとともに、組織として研究を紹介していくことが重要であり、その際、広報の専門人材を育成・確保することが重要
- 成果を単に翻訳するのではなく、研究のバックグラウンドにある問題意識や考え方も含めて発信する必要
- デジタルコンテンツの発信では、専門家以外にも利用・理解しやすいようにして発信する必要
- 研究の国際発信に向けては国際的なネットワークの構築も重要

《これまでの論点における人文学・社会科学の振興に向けた人材育成》

これらの課題に対応して人文学・社会科学を振興するため、次代を担う若手の人材、研究や研究者を支援する人材の育成が重要

推進方策

- 異分野融合研究における研究者の育成及び異分野の研究者のマッチングや、共創の場づくりと活動をサポートする人材の育成
- 研究データ基盤の整備・活用に通じた研究者の育成及びデータの公開に係る適切な保存や利便性に資する研究支援人材の育成
- 研究成果の国内外への発信に係る広報の専門人材の育成・確保